

平成 29 年度上期認定分 ましこ世間遺産一覧

| No. | 世間遺産の名称 | 申請団体 | 場所 |
|-----|---|------------|-------|
| 1 | たき い がにさわ い 瀧の井・蟹澤の井 | 田中歴史愛好会 | 大字七井 |
| 2 | は が ふ じ おおひらさん 芳賀富士 (大平山) | 芳賀富士同志会 | 大字大平 |
| 3 | りゅうじんさま 竜神様 | 本郷・原・松本自治会 | 大字山本 |
| 4 | みなもとのよりと おとうと あ の ぜんじょう はか だいろくてん もり 源頼朝の弟阿野全成の墓と大六天の森 | 上大羽自治会 | 大字上大羽 |
| 5 | こけい いん ふなばしだんしよ たきざわがまあとち 虎溪院・舟橋談所と瀧澤窯跡地 | 舟橋自治会 | 大字大平 |
| 6 | つなじんじゃだいだいかぐら 綱神社太々神楽 | 綱神社太々神楽保存会 | 大字上大羽 |
| 7 | しんまちちようこくやたい 新町彫刻屋台 | 新町自治会 | 大字益子 |
| 8 | もおかてつどうこかいがわきようりよう 真岡鐵道小貝川橋梁 | 新町自治会 | 大字益子 |
| 9 | ましこえき 益子駅 | 新町自治会 | 大字益子 |
| 10 | やさかじんじゃ 八坂神社 | 北益子自治会 | 大字益子 |
| 11 | じょうとうはしらだてかざり だ し 上棟柱立飾山車 | 下町後町山車保存会 | 七井中央 |

認定No.1 ^{たき い がにさわ い} 瀧の井・蟹澤の井

申請団体 田中歴史愛好会

稲毛田台地の段丘崖の下に「瀧の井」「蟹澤の井」は位置し、湧水により形成されたと考えられている。「七井」の地名の由来とされる七つの井戸に含まれる井戸である。

「瀧の井」の名前の由来は、すぐ上の段丘に建つ瀧尾神社から付いたと考えられている。また、「蟹澤の井」は沢蟹が生息していたことから名付けられたと言われている。

①瀧の井

◇住所…益子町七井 2049 付近（※ナビで表示されない可能性あり）

◇駐車場…田中農業構造改善センター
（益子町七井 2631 付近）

◇注意事項…駐車場より徒歩 5 分、足下が汚れる可能性あり

※ナビで表示されない場合はお電話等でお問い合わせください。



<瀧の井>



<瀧の井遠景>



<田中農業構造改善センター遠景>



<瀧の井駐車場>

②蟹澤の井

◇住所…益子町七井 2 1 3 7 付近

◇駐車場…蟹澤の井手前の休耕田をご利用ください。

◇注意事項…足下が汚れる可能性あり

◇問合せ先…益子町中央公民館

(0285-72-3101)

(8時30分～17時15分、月曜休館)



<蟹澤の井>



<蟹澤の井曲がり角>



<蟹澤の井遠景>



<駐車場遠景>



<蟹澤の井駐車場（休耕田）>

認定No.2 はがふじ おおひらさん 芳賀富士 (大平山)

申請団体 芳賀富士同志会

芳賀富士は標高 272mで栃木百名山の一つである。地元では小学校の遠足やお花見で慣れ親しんだ山であるとともに、町外から益子町へ戻ってきた時に「芳賀富士」が見えてくると、やっと帰ってきたと実感できる山である。

芳賀富士の麓にある安善寺と熊野神社は たいらの平貞能さだよしが建てたといわれている。芳賀富士同志会は、約 40 年間にわたり定期的に芳賀富士山頂や登山道の手入れをしている団体である。

◇住所…益子町大平 5 7 付近

◇駐車場…安善寺 (益子町大平 2 0 2)

◇注意事項…動きやすい服装、靴で登山ください。雨の日等は足下が滑るため要注意。

◇問合せ先…益子町中央公民館

(0285-72-3101)

(8時30分～17時15分、月曜休館)



<芳賀富士山頂の様子>



<栗生からの遠景>



<山頂から小宅方面を望む>



<熊野神社入口の様子>

認定No.3 りゅうじんさま 竜神様

申請団体 本郷・原・松本自治会

山本の八幡神社脇の山道を 10 分ほど登った所に竜神様が祀られている。明治 29 年にひょう害があり、以後被害をなくすため祠を建て竜神様を祀ったと伝えられる。現在も 5 月 30 日の前の日曜日に、3 自治会の有志 30 人から 40 人が集まり、神前に餅や米、お酒を供え心経を唱えてお祭りを行っている。

◇住所…山本八幡神社（益子町山本 1564）付近
（※ナビで表示されない可能性あり）

◇駐車場…山本八幡神社、2 台まで駐車可能。

◇注意事項…山本八幡神社入り口が分かりにくく道が狭いので注意。山道は傾斜が急こう配のところもあり、徒歩で 10 分程度。雨の日等は足下が滑るため要注意。

◇問合せ先…益子町中央公民館
(0285-72-3101)
(8 時 3 0 分～1 7 時 1 5 分、月曜休館)



<竜神様>



<山本八幡神社鳥居遠景>



<山本八幡神社入口が複雑なので注意>



<八幡神社階段下に駐車してください>

認定No.4 みなもとのよりととも おとうと
源頼朝の弟

あ の ぜんじょう はか だいろくてん もり
阿野全成の墓と大六天の森

申請団体 上大羽自治会

鎌倉幕府を開いた源頼朝の弟である阿野全成とその従者のものと伝えられる墓（五輪塔）が大六天の森（旧大羽小の学校林）に遺されている。上大羽にある綱神社で11月に行われる例大祭の際には、この大六天にもしめ縄を飾っている。歴史的な五輪塔の経緯を知る人も少なくなっているが、将来にわたり守り伝えていきたい。

◇住所…益子町上大羽 709（友愛作業所、旧大羽小学校）付近

（※ナビで表示されない可能性あり）

◇駐車場…友愛作業所（旧大羽小学校、益子町上大羽 709）

◇注意事項…駐車場までの道が狭いので注意。駐車場から徒歩5分程度。足下が汚れる可能性有。

◇問合せ先…益子町中央公民館（0285-72-3101）

（8時30分～17時15分、月曜休館）



<阿野全成の墓>



<大六天の森入口>



<友愛作業所入口>



<大六天の遠景>

こけいいん ふなぼしだんしょ たきざわがまあとち
認定No.5 虎溪院・舟橋談所と瀧澤窯跡地

申請団体 舟橋自治会

虎溪院は、円通寺の前身で開祖の良栄上人が名づけた。別名を舟橋談所ともいう。現在も「南無阿弥陀仏」と彫られた石碑や良栄上人修行の井戸・記念石碑等が建っている。「南無阿弥陀仏」の石碑は小宅古墳群の天井石を使用したとの説もある。また、すぐ隣には江戸時代末創業の瀧澤窯跡地が隣接している。明治から大正にかけて汽車土瓶を焼いていたことがわかっている。現在も当時の焼き物の破片を表土にみつけることができる。



<小宅古墳天井石説のある石碑>

◇住所…益子町大平 796-1 ◇駐車場…瀧澤家（益子町大平 796-1、2台のみ駐車可能）

◇注意事項…個人宅の庭にあるため事前に瀧澤家に連絡が必要。足元が汚れる可能性あり。

◇問合せ先…瀧澤家 TEL0285-72-4817



<虎溪院遠景>



<瀧澤窯跡地>



<瀧澤家入口遠景>



<瀧澤家入口>

認定No.6 つなじんじゃだいだいかぐら
綱神社太々神楽

申請団体 綱神社太々神楽保存会

幕末文政年間に村人たちが茨城県協和町（現筑西市）の小栗内外大神宮伝承の神楽を習得し現在に至っている。平成10年に当時の大羽小学校に伝統クラブが発足したことから、保存会が指導を行っている。同校の廃校後も地域の子供たちが練習を重ね、秋の例大祭などで舞を披露している。



<天狐白狐（稲倉の舞）>

◇注意事項…令和元年例大祭

期日：11月10日（日）

場所：綱神社境内（尾羽の里交遊館より徒歩3分）

◇駐車場…尾羽の里交遊館（益子町上大羽912）

◇問合せ先…益子町中央公民館（0285-72-3101）

（8時30分～17時15分、月曜休館）



<五行の舞>



<恵比寿大黒の舞>

認定No.7 しんまちちょうこくやたい
新町彫刻屋台

申請団体 新町自治会

江戸時代後期の文化 14年に宇都宮市押切町にて製作され、明治13年新町有志の人々が買い求め、以来新町彫刻屋台として祇園祭にて引き回してきた。明治13年と大正9年に大規模改修の記録が残っている。平成11年に焼損したが自治会員の熱意により復元され、平成15年より江戸時代の勇姿を復活させ、祇園祭を盛り上げる一翼を担って活躍している。

◇住所…益子町益子 1004-3 新町屋台会館に常設展示されている。(どなたでも見学可)

◇駐車場…益子町益子 1004-3 (※ナビで表示されない可能性あり)

◇注意事項…令和元年祇園祭

期間：7月23日(火)～25日(木)

場所：益子町大字益子地内

◇問合せ先…益子町中央公民館 (0285-72-3101)
(8時30分～17時15分、月曜休館)



<屋台引き回しの様子>



<新町屋台会館>



<屋台会館の中の様子>

もおかてつどうこかいがわきょうりょう
認定No.8 真岡鐵道小貝川橋 梁

申請団体 新町自治会

現役最古のポニーワーレントラスの橋梁。イギリス積みで形成された煉瓦橋脚とともに、わが国の鉄道草創期の息吹を今に伝える歴史遺産となっている。平成 23 年土木学会選奨の土木遺産に認定された。明治 27 年英国の鋼材会社「パテントシャフト&アクスルトウリー」で造られたもので、日本国内の幹線鉄道で使用されていたものを大正 2 年に転用移設され現在に至っている。



<橋梁遠景>

煉瓦積みの橋脚は、昭和 13 年の水害を教訓に約 1m コンクリートで嵩上げされた。橋梁とともに、時の流れを見守り続けている。

◇住所…益子町益子 1 3 4 8 - 1 (小貝川親水公園)

◇駐車場…同上

(※ナビで検索する場合は住所ではなく、「小貝川親水公園」で検索。ナビにより出てこない可能性あり)

◇注意事項…駐車場より徒歩 2 分

◇問合せ先…益子町中央公民館 (0285-72-3101)

(8時30分～17時15分、月曜休館)



<橋梁南側から>



<煉瓦積みの橋脚>

認定No.9 ましこえき 益子駅

申請団体 新町自治会

益子駅は大正2年官設鉄道真岡軽便線益子駅として開設した。現在の駅は、平成10年3月に旧駅舎が老朽化したため改築され、平成11年に関東の駅100選に選定された。「焼き物の街に配慮した瓦屋根の駅舎にツインタワーをシンボルとした斬新な駅」という理由で選定された。

鉄道は、人はもちろんのこと、たくさんの物も運び、益子焼を大量に運んでいた時代もあった。まさに益子の発展に欠かすことのできない役割があった。また、旧益子駅は、益子町で初めての洋式水洗トイレがあったところとも言われており、時代の最先端を担っていた。

平成12年駅前のロータリーには、ハンガリー出身の彫刻家ワグナー・ナンドール氏がデザインしたモニュメント「アローム・夢」が設置された。

益子駅は今も昔も人々の生活を見守り、門出を応援している町のシンボリック的存在である。

◇住所…益子町益子 1591-2

◇駐車場…益子駅西側

◇注意事項…駅東側への移動は、跨線橋を利用してください。

◇問合せ先…益子町中央公民館（0285-72-3101）

（8時30分～17時15分、月曜休館）



<益子駅遠景>



<旧駅舎（平成8年頃）>



<益子駅西側駐車場と跨線橋>

認定No.10 やさかじんじゃ
八坂神社

申請団体 北益子自治会

『栃木県神社誌』によると創建は寛永3年とのこと。毎年7月の海の日前後3日間に例大祭が行われる。本殿は茅葺屋根で、彫刻の所々に色が残っている。本殿側面には神紋も残っており、創建当時の華やかさを想像することができる。



<八坂神社本殿>

◇住所…益子町益子3796-1

◇駐車場…同上

(※ナビで検索する場合は住所ではなく、「益子町 八坂神社」で検索。ナビにより出てこない可能性あり)

◇注意事項…駐車場は1台のみ。雨の日等は足下注意。

◇問合せ先…益子町中央公民館 (0285-72-3101)

(8時30分～17時15分、月曜休館)



<駐車場は鳥居の前をご利用ください>



<神紋の様子>

じょうとうはしらだてかざり だ し
認定No.1 1 上棟柱立飾山車

申請団体 下町後町山車保存会

建造から 120 年以上の歴史を有し、土台部分が箱型でそこから心柱が建ち、心柱の最上部に飾り物が施された宇都宮系山車の形式を色濃く残している。50 年の時を経て平成 25 年に復活した。

◇住所…益子町七井中央 7 - 1

◇駐車場…同上

◇注意事項…駐車場利用、見学希望の場合は事前連絡が必要。

以下の①～③へお問い合わせください。

①大塚さん 0285-72-2431

②大岡さん 0285-72-3011

③岩崎さん 0285-72-3316

◇問合せ先…見学、内容についても同上



<飾り物及び高覧部分>



<上棟柱立飾山車>



<山車巡行の様子>